

数専会だより

2002年 10月
東京女子大学
同窓会
数専会

総会報告

平成十四年六月八日(土)
於72年館二階
議題

- 一、一般報告
- 一、決算及び予算
- 一、会計監査
- 一、夏季研修会について
- 一、その他

一般報告

*役員改選

会長の再選が承認されました。
常任幹事は及川恭子氏(S34)、
中田達子氏(S42)の後任として
菅沼綾子氏(S34)、荒木祐子
氏(S52)に、また会計監査は
任期満了により小林多恵子氏(S
27)から関口貞子氏(S33)
に代りそれぞれ承認されました。
及川さん、中田さん、小林さん
有難うございました。

*新入会員の入会について

会則によれば終身会費を卒業時
に納入とあるが、全員入会してい
る状況にはない。また実際は通信
費に充当されている。今後会則の
解釈・改正を検討し、今後の活動
の基盤がゆるがないように考え、
数専会だよりを一年(四年生まで
渡し、数専会の存在をアピールし
ていきたい。

*各部報告

詳細は4頁の通り。

決算及び予算
詳細は4頁の通り。

会計監査

承認されました。

夏季研修会について

初めての会場、生産性国際交流
センターで下記の通り行われる旨
の紹介と参加勧誘をしました。

その他

*園遊会バザー

今年もバザーのお店を出しまし
た。新たにルトランプ、九九
ランプに加え、子供用のパジャ
マ、ピアノ曲線の刺し子の布巾、
役員提供の品々等、たくさん売れ
ました。ご協力有難うございまし
た。

*数専会ホームページ

ホームページに載せましますので、
現在、グループで勉強中の内容や
テーマ、楽しい集い、地方の情報
などお寄せください。住所などの
変更もホームページ(または会長
宛Eメール)で出来ます。内容も新し
くなりましたので、どうぞご覧下
さい。

なお、ホームページのアドレス
は次の通りです。

http://www.geocities.com/jp/Te
hpopol/si/2355

「御挨拶」

高橋 美保子(S31)

会長を一期二年間、大変なこと
も多々ありましたけれど、常任委
員の方に助けられて無事務めさせ
て頂き、有難く深く感謝いたして

おります。今年度総会で、もう一
期続けることになりました。また
皆様のご協力を心からお願いい
します。

まずは次期会長と常任幹事を皆
様により推薦していただくこと
をお願いしたいと思いますので、ど
しどしご推薦ください。

夏季研修会

平成十四年七月二十七日(土)

於 生産性国際交流センター

(葉山町湘南国際村)

*今年の夏季研修会は、初めての
葉山町湘南国際村で行われました。
カフェテリアの広い窓からは富士
山と湘南の海の眺望が楽しめ、夜
はシングルルームでゆっくりくつ
ろぐことが出来ました。最新鋭の
設備を整えたセミナー室での勉強
も魅力的でした。
参加者は日帰りを含めて五十八
名でした。

「乳幼児の対人世界」

中京大学教授 古澤頼雄氏

(古澤頼雄氏からの「寄稿」による
講演要旨)

生後2年間に子どもはどのよう
にして社会の仲間入りを果たして
いくのでしょうか。最近の乳児研
究は、この問にかなり明確に答え
ることが出来るまでに、発展して
きています。ここでは、映像を交
えながら、そのステップを考えて
みましょう。

まず、生まれたばかりの赤ちゃんに備わっている社会への準備として、原始反射と感覚的応答をあげることが出来ます。原始反射というのは、人間の進化の過程で環境にうまく適応していくために獲得した行動が遺伝的に組み込まれて残ったものと考えられます。赤ちゃんが原始反射を示すことは、おとなの養育行動を手助けしていると考えられます。一方、感覚的応答をめぐって、最も明確に現れるのは、人の顔に対する最早期からの顕著な注目傾向です。人の顔は、その配置や口・鼻・目などの大きさに多少の違いはあるものの、一日に何回となく出会う図柄です。このことは、それだけ学習の機会が大きいと考えられるのですが、ある実験によると生後3日目でも他の図柄よりは顕著に人の顔への凝視時間が長いことから考えると、これも生来的な行動として個体に備わっているとも推測できます。この他、表情に対する反応も子どもなりにもっている社会への準備としてあげることが出来ます。一方で、赤ちゃんが生まれて暫くの間は微妙な音の違いをきちん

と聞き分けていることも明らかに
なっています。例えば、r(アー
ル)とl(エル)の発音を聞き分
ける力は、その赤ちゃんがその発
音の違いがあまり意味をもたない
母国語の中で生活していくと生後
8ヶ月頃まではほぼ100%なの
ですが、10ヶ月頃までは50%
12ヶ月には10%以下になって
しまつと言われています。このこ
とは、なぜ私達日本人にとっては
この二つの発音の聞き分けが不得
意であるかを示しています。

赤ちゃんはこれ以外にも積極的
に社会生活に参加する道具を持ち
合わせています。それは微笑と発
声と身体同調です。まず、微笑で
すが、最初はごく生理的な現象に
過ぎないと考えられます。場合に
よっては、風が吹いても微笑が起
ると見られます。ところが、赤
ちゃんに関わるおとなはこのよう
な微笑を見て、機嫌のよさとか心
地よさと思なし、時には言葉に表
しながら、関わっていきます。つ
まり、赤ちゃんが示していること
はまだ社会的なんの意味も持た
ないにも拘わらず、そこに人と人
との交流の意味を加えていくので
す。このようなことは発声にも身
体同調にも共通して見られます。
ここで大事なことは、周囲が赤ち
んの心の働きが微笑や発声や体の
動きになって現れているとみなし
て、赤ちゃんをより肯定的にとら
えていくことです。それは、かわ
いければかわいい程、相手が何を
しているもそれが心地よく感じら
れるのと同じです。このようにし
て、周囲が赤ちゃんを自分の心の
世界を通して見ていくことがやが
ては、赤ちゃんに自分に気持があ

るように相手にも気持があるというふうな方を可能にしていくのです。このような人と人との起こる心の様態を「問主観性」と言っています。それは、自分が考えていることが他の人に分かってもらえたり、他の人が感じていることが自分に分かったりすることです。

さて、親子間で心が共有されること程、お互いの気持が通じ合うことはありません。このような体験は、実は子どもが8〜9ヶ月頃から可能です。そして、それに伴って、おとなが何かを指さすと子どももその指さされたものに注目するという動作となつて現れます。とくに重要なのは感情の共有です。まさに気持がひとつになり、二人で同じメロディーに合わせて心地よさを表現します。このような共有体験は、これからの対話や相手への思いやりにつながる土台となります。

さらに、1歳半を過ぎると子どもの心に大きな飛躍が見られてきます。それは、相手を介して自分を知ることと相手の心の中に目が向くようになることです。見えないうちで自分（自分で見る）ことができるのは、手足と胴体の前面で、顔は鏡に写さない限り分かりません（を見ている他の人との関わりを通してどう理解していくか、そのためにあらゆる神経を相手の関わり注ぎ、そこから段々と自己を知っていくのです。その過程のひとつとして、相手の心を推し量るといふ試みがごく日常的に行われていくのです。

このように見てくると、幼い子どもであってもしっかりと自分を築きあげるといふ終生の課題に取

り組んでいることが分かります。「静聴を有難うございました。」

「乳幼児の対人世界」をお聞きして

廣田 貞子 (S24)

古澤先生の映像を交えながらのお話は実に愛に満ち深い洞察が伺えて感じ入りました。

この世に生まれたばかりの赤ちゃんに備わっている社会準備性と原始反射の偉大さを沢山の例を挙げて示されました。以前から視力より聴力が先行する（生後一ヶ月以内）と言われていますが微妙な音の違いを聞き分ける能力をRとLの発音の聞き分けで証明されました。これを維持していれば英語もドイツ語も楽だったかも。人の顔を凝視している間に赤ちゃんは適確に認識していつて主観的関わり「うれいなど」を持つようになり、相互作用において自ら意味づけをし、やがて親子間の主観の共有へと発展していくのです。意図の共有：相手の意図を理解すること。

情動の共有：相手の内的状態の行動による表現を汲み取る
情動調律

問主観性：赤ちゃん自身に気持があるように相手にも気持があるのだという捉え方を可能にする。教育者は幼児の気持が大人に伝わる経験を得るように仕向ける。

身体同調、言語を通じ相手の内情を感じとりお互いに心の交流を経て気持が通じ合うようになります。重要なのは感情の共有です。

一歳半頃には自己を知覚するようになり大人を通して自分を見るのです。内的状態（生理状態や情動）を表現し、他者行動の延滞模倣、他者の内的状態へ言及、乳児期から持ち合わせの社会生活参加が積極的になります。

純粹無垢（むく）、無辜（むこ）の小さな生命の成長しようとする素晴らしい力に私は感動を覚え、膝を曲げ幼児と同じ目線に立つて対話すると信頼が増します。夫婦共働きでも家庭での少ない時間を充実させ、預かる祖父母や保母さんも同様、乳幼児の対人世界の在り方をよく心得ましょう。基礎的人間性は満三歳までに確立されるのだと或児童心理学者が新聞に書いています。昨今の若年層の忌まわしい事件は今日のお話が疎かにされていたからでしょう。

「豊後化回廊」

元愛知大学教授 相良信子氏 (S27)

講演概要（相良信子氏からの「寄稿」）は第3頁にあります。

兵庫からの想い

兵庫支部長 徳山清子 (S41)

先日、支部長会に出席して、その中で数専会からの御報告を聞き、数ある学科の中でも数理科だけが独自の同窓グループを持っていることに誇りと戸惑いを感じます。遠く兵庫からでは、なかなか行事に参加することが出来ま

せんし、自分たちから：と言われ、一寸難しいものがあります。数専会としての活動は無いと思われず。

先の阪神淡路大震災では、私たちは多かれ少なかれ被害を受けています。私自身でも目覚めると、5時47分である事が度々あり、未だに復興途中にある方もいらつしやいます。同窓会からはお見舞いに母校の花の冊子を戴き、本心に慰められました。数々の温かい御支援を戴いたことも、この紙面をお借りして感謝申し上げます。

私は園田女子大学で、聴講生としてパソコン操作を習ったり、インターネット大学で、色々勉強してきました。数専会でも、こういう取り組みをしてくださり、遠くからでも学べるチャンスを下さる、と有難いのですが。

昨今の大学の研究室の移り変わり

数学教室助手 杉山 真澄 (S44)

数理学科ゼミは担当の教員の異動により、移り変わっています。系統別には次のようになっています。

解析系は松原稔先生 宮地晶彦先生、高村多賀子先生 大阿久俊則先生、代数系は山本幸一先生 近藤武先生、山島成徳先生、幾何系は笹尾靖也先生 静間良次先生 小林一章先生、根岸愛子先生 谷山公規先生 大山淑之先生、応用数学系は雨宮一郎先生 篠原昌彦先生、小河原正巳先生 守屋悦

朗先生 永山操先生、物理系は黒星瑩一先生 矢崎紘一先生、遠藤眞二先生（退職）、化学系は山口則子先生、島美喜子先生（退職）、生物系は福田一郎先生、小島寛先生 鳥山英雄先生（退職）、情報系は長田直樹先生です。現在、自然科学系は専任が各一人となっており、理系の充実ということで数学を含めた新学科・コースが増えるはずが立ち消えとなり、残念でした。以上に充実をはかることになりましたので、一層のご支援をお願いいたします。

お知らせ

平成十五年夏の夏季研修会は講師の一人として東京工業大学教授の石井志保子氏（S48）を予定しております。皆様のおいでをお待ちいたします。

通信費の納入にご協力ください

昨年に引き続き、通信費（平成十三、十四年度分）を集めております。

この数専会だよりをお送りする時に未納の方には振込用紙を同封いたしますので、卒業年を明記の上お振り込み下さい。平成十一、十二年度未納の方はその分もお願いたします。

数専会が今後も活発に活動するための大切な資金です。ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

【厚生部から】

厚生部では皆様の求人・求職のお手伝いをしております。平成二十二年度の活動状況を報告いたします。

*教職関係

専任教員 13件(成立なし)
 時間講師 12件(成立1件)
 塾 講師 1件(成立なし)
 家庭教師 1件(成立なし)

*その他

大学研究室 1件(成立1件)

専任教員公募13件、時間講師公募12件の情報は杉山先生より頂きました。教職をご希望の方は是非お知らせ下さい。数専会ホームページの厚生部求人情報もご利用下さい。

TEL x x x x x x x x x x x x x x x x
 原田 秀子(S29)

TEL x x x x x x x x x x x x x x x x
 菅沼 綾子(S34)

【庶務部から】

庶務(住所管理担当)からのお願い

- 一 通信費の振込みには必ず卒業年を書いてください(同姓同名の方が居ますので)。和暦・西暦どちらでも結構です。
- 二 転送されたお手紙を受け取られたらご連絡下さい(転送期間は一年です)。
- 三 改姓・住所変更等はなるべく数専会HP・会長FAX・葉書などでお知らせ下さい。

TEL x x x x x x x x x x x x x x x x
 兼俊 充子(S30)

【研究部から】

昨年同様、高村先生、杉山先生、永山先生のゼミと、五つのパソコン教室、二つの高校数学教室、計十の勉強会があります。

相良信子先生(S27) 最適化問題ゼミ、高橋道子先生(S34) フリー工解析ゼミの開講を企画し、現在希望者を募集中です。

相良先生には、夏季研修会で講演をお願い致しました。皆様の参加をお待ちいたしております。

TEL x x x x x x x x x x x x x x x x
 菊地 弘子(S22)
 TEL x x x x x x x x x x x x x x x x
 高山千津子(S41)

今年の夏季研修会参加者は、日帰りを含め58名でした。例年のようにアンケートをとりました。結果は次の通りです。

アンケート回答数
 (複数回答を許す) 36

- 一 開催地について
 - ・良かった(場所、施設、個室) 24
 - ・交通の便が悪いことが難点 6
 - ・東京都内にして欲しい 2
 - ・無回答 4

- 二 研修会会費について
 - ・適当(泊日:15000円) 31
 - ・高い 2
 - ・無回答 3

- 三 来年の企画について
 - ・古澤先生のお話の続きが聞きたい
 - ・パソコン、OHP等を使って高次元

の世界をみる
 ・数学好きにさせる面白い問題を皆で解く
 ・数学以外の分野についての話を聞きたい
 ・新学長をお招きしたら
 ・夏休み以外の時期にして欲しい
 ・日帰り研修にして欲しい

四 今回の研修会について

- 古澤先生の講演
- 面白かったから続きが聞きたい
- 相良先生の講演
- 最適化問題は新しい分野で取りつき難かった
- 数式、グラフが出て数専会の研修会らしくてよかった

どうも有難うございました。来年の企画の参考にさせていただきます。
 会長

編集後記

今年の夏季研修会は、初めて湘南国際村にある生産性国際センターで試みました。雄大な自然に囲まれ、講演室、宿泊施設も落ち着いた雰囲気でした。

今回より地方におられる会員の方のお声、ご活躍の様子を皆様にお届けできましたらと掲載させていただきましたことになりました。様々な意味で連携を密接にできたと思います。

【発行人】

東京女子大学同窓会数専会

会長 高橋 美保子

〒 x x x x x x x x x x x x x x x x

x x x x x x x x x x x x x x x x

x x x x x x x x x x x x x x x x

x x x x x x x x x x x x x x x x

x x x x x x x x x x x x x x x x

x x x x x x x x x x x x x x x x

x x x x x x x x x x x x x x x x

(注) 会計報告をご覧になりたい方は、数専会までご連絡ください。